

2025年度 第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報

令和7年8月1日付けで、「2025年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報（2025年8月～12月）」が発表されました。本予報は、北海道～鹿児島県までの水産試験研究機関がデータを持ち寄り、国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産資源研究所が取りまとめ、九州～常磐南部までの黒潮流路を主とした海況予測と、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ、マサバ・ゴマサバの漁況予測を行ったものです。宮城県海域に関係する予報が出されたのは、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ及びゴマサバで、予報内容は以下のとおりです。

〈今後の見通し（2025年8月～12月）〉

- マイワシ**（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）
 - (1) 来遊量：房総～三陸海域では前半は前年並～上回り、期後半は前年並～下回る。道東海域では前年並。
 - (2) 漁期・漁場：まき網は8月～10月は道東海域が主漁場となり、房総～三陸海域は小規模な漁場形成となる。11月、12月は三陸～常磐海域において漁獲される。定置網は各地で期を通じて散発的に漁獲され、12月以降に本格化する。
 - (3) 魚体：12cm～16cm前後（1歳魚）、15cm～18cm前後（2歳魚）、16cm～20cm前後（3歳魚）主体に漁獲される。

- カタクチイワシ**（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）
 - (1) 来遊量：房総海域では漁獲主体となる0歳魚は予測が困難、期序盤に漁獲される1歳以上は前年を下回る。常磐海域では主たる漁獲対象とならない。三陸南部海域～仙台湾では前年並。三陸北部海域では前年並～下回る。道東海域では、マイワシの来遊量が著しく少ない場合に漁獲の主対象となる可能性がある。
 - (2) 漁期・漁場：房総海域の2そうまき、三陸南部海域～仙台湾の定置網では期を通じて漁獲される。三陸北部海域の2そうまきでは9月以降。常磐～房総海域の1そうまきの主な漁獲対象にはならない。道東海域の1そうまきでは漁獲の対象となる可能性がある。
 - (3) 魚体：6cm～9cm前後の0歳魚、9cm～14cmの1歳以上が漁獲される。

- マサバ及びゴマサバ**（対象海域：犬吠～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網等）
 - (1) 来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年並。4歳魚は前年並。5歳魚は前年を上回る。6歳魚は前年を下回る。マサバ全体としてはまき網では低調であった前年並～下回り、定置網では前年並、底曳網では前年を下回る。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては低調であった前年並～下回る。
 - (2) 漁期・漁場：定置網、底曳網では期を通じて漁獲される。まき網漁場は、8月～10月は道東～三陸南部海域、11月～12月は三陸北部海域～犬吠埼沖に主に形成される。
 - (3) 魚体：マサバは24cm～37cm（2歳魚、3歳魚）主体に、20cm～30cm（1歳魚）および28cm以上（4歳以上）も漁獲される。

※ 詳細については、国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ
(https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2025/fri_20250801_ukiuo-pac-1st.html)